

大島理森衆議院議長祝辞

本日、第 61 回町村議会議長全国大会が開催されるにあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

本年は、地方自治法が施行されてから満七十年に当たる大きな節目の年であります。この間、町村議会は住民の多様な意見に真摯に耳を傾けながら、自治法規である条例の制定と、町村長による行政に対する抑制・監視を通じて、民主政治の実現に重要な役割を担ってきました。

そして現在、地方の自主性及び自立性の拡大が進み、町村議会の意思決定がますます重要になってきています。このような状況の中で、町村議会運営の重責を担われ、地方自治の伸展と住民生活の向上のため、日々ご尽力頂いている皆様方に、心から敬意を表します。

今日、町村においては、少子高齢化や大都市圏への人口流出により人口減少が進んでおり、コミュニティの維持・存続が急務であります。このため、それぞれの地域が強みや資源を活用することにより、「しごと」を創出し、「ひと」を集め、多様で個性に富んだ「まち」を創生させなければなりません。住民に最も身近な町村の活性化なくして、我が国の持続的な発展はありません。衆議院といたしましても、町村議会の機能を強化し、町村が自主性・自立性を十分に発揮できるよう、関係委員会において審議や調査を進め、町村の振興発展に取り組んでまいり所存です。

近年、地震や噴火など大規模な自然災害が相次いでおり、本年も集中豪雨や台風による被害が発生しました。今後も、大規模災害の発生が予想されており、自治体の役割と責任は極めて重いものがあります。町村議会議長の皆様におかれましては、住民の大きな期待に応えるために、遺憾なく力を発揮されますようご期待申し上げます。

結びに、本大会のご成功と皆様方の一層のご活躍とご健勝をお祈りして、お祝いの言葉と致します。

平成 29 年 11 月 22 日

衆議院議長

大 島 理 森